



## 読売新聞 (2017年11月20日夕刊) 掲載

白石容疑者宅に警視庁の捜査員が入る。警視庁が白石容疑者を死体遺棄容疑で逮捕した。白石容疑者のスマートフォンが、事件の約1か月前の9月20日と確認された。田村さんの「一緒に自殺してくれる人いませんか」との投稿に対し、「まだ一緒に死ぬ相手をおさがしですか」と返信し、やり取りが始まった。10月23日は白石容疑者が「八王子駅前でごいません」とメッセージを送っていた。

同庁は、田村さんが殺害される前に抵抗したことなどから、嘱託殺人ではなく殺人容疑を適用して再逮捕した。死体遺棄容疑については処分保留とされた。

▲関連記事15面▼



**保険金固定型葬儀保険**

84歳まで加入でき、99歳まで継続可

子供や周囲に迷惑をかけたくない

内縁関係・LGBT・おひとり様等もご利用いただけます。

保険料例  
65歳女性100万円プランで  
**1,150円** 月額  
葬儀に関わる費用をサポート

お問い合わせはお気軽に  
☎ **0120-685-336**  
平日9:00~17:00 土日祝日・年末年始を除く

あんしん少短 検索

あんしん少額短期保険株式会社  
〒330-0855 埼玉県さいたま市大宮区上小町 535 香地  
登録番号 関東財務局長(少額短期保険)第52号

**よみうり寸評**

政界の汚職など、密室の行為が焦点になる事件で関係者の証言が食い違う。そんな時、たとえに挙がるのが芥川龍之介の『藪の中』である◆侍が胸を刺されて息絶えていた。現場にいたのは当の侍を含めて3人。第一に嫌疑のかかる盗人が自分の太刀で殺したと言え、侍の妻は私が小刀を胸に刺し通したと懺悔し、侍自身は巫女の口を通じて自害だったと語る◆小説を地で行くのは密室の事件に限らないらしい。十数人の宴席が舞

台となった日馬富士関の暴行問題である。横綱の品位を汚す行為に変わりはなくとも、殴った手段がビール瓶か素手かで印象はちがってくる◆日本相撲協会の調査に本人が暴行を認めた。ビール瓶の使用は宴に同席していた白鵬関も否定しているが、カラオケのリモコンで殴ったと証言もあるという◆当夜の状況以外にも謎は多い。貴ノ岩関の師匠の貴乃花親方がすぐに被害を協会に届けなかったのはなぜか。協会の公表が本場所のさなかまで遅れたいきさつは? 踏み込むべき藪は案外と深い。

2017.11.20

●寄付・管理費無 ●生前予約可

**眞宗寺川崎霊園**

☎ 044-9665-0965

川崎市麻生区王禅寺1-2-4-1  
墓地等経営許可/川崎市指定第7号

**あすの**

日本列島は高気圧に覆われ、太平洋側の天気が晴れる。日本海側は雨や雪がやみ、曇り間が広がる。残るため、風が吹く。

読売新聞 購読申し込み  
<http://434381.jp>

読者センター  
販売・配達 (4時~24時)

紙面関連 お問い合わせ (9時~22時) 意見

**買**

**オーデイオ高価**

高価買取強化中!

通常査定価格より **13%** 買取価格アップ!

お電話で「広告見た」とお伝え下さい。